

さつま議会だより

平成26年2月6日発行 No.36



補正予算の概要	2P
条例改正・常任委員会審査の概要	4P
一般質問(5人)	6P
決算特別委員会審査概要	9P
所管事務調査概要	10P

冷たい川に次々と飛び込む参加者たち!! 《第61回新春泳ぎ初め(平成26年1月1日)》

平成25年第4回(12月)定例会は、12月2日から25日までの24日間の会期で開かれました。

条例の廃止・改正、各会計の補正予算などを慎重に審議し、提案された議案すべてを可決しました。

12月定例会の
あらまし



《表紙紹介》

宮都大橋上流の川内川で開催された泳ぎ初めには、5歳から73歳までの約70人が参加しました。例年よりも暖かい元日の朝となりましたが、水温は9度と冷たく、参加者は悲鳴を上げながらも元気よくゴールに向かって泳いでいました。

◆平成25年度12月補正◆

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計	3,990万円	139億1,854万円
国民健康保険事業特別会計	8,016万円	35億1,066万円
水道事業会計	175万円	1億8,537万円
簡易水道事業会計	783万円	4億3,361万円

※一般会計は第6号から第8号までの補正の合計額

※その他の会計は第1号補正額

補正予算

～今後の事業展開を探る～

企業立地促進条例に基づくカイケンコーポレーション株式会社への企業立地促進助成金です。平成23年12月に町と立地協定が交わされ、求名地内で工場等の整備が進められていました。助成金は、雇用人員等に対し一定の基準に基づき算出されます。



企業立地促進助成金

516万円

今回の補正では、金庫類等の重量物や大型絵画の移設運搬等に係る委託料、クレーン、フォークリフト等の重機借り上げ料及び1階から3階まで配置されるカウンター用マットや正面玄関等の出入口に置かれる足ふき用マットの購入費が計上されています。



完成間近の新庁舎(平成26年1月撮影)

庁舎建設等事業費
363万円

総務厚生常任委員会による現地調査

保育所運営費（システム構築）

853万円

子どもも子育て関連三法の成立により、子育て支援の実施責任が各自治体に委ねられました。これにより、町として今後の子育ての取り組みに関する地域子ども子育て支援事業計画を策定する必要が生じたことなどから、新たな機能を備えたシステムを構築するための経費です。



次代を担う子どもの支援が課題である

太陽光発電システム設置事業補助

525万円

当初予算で、70基分7

35万円が計上されましたが、8月頃から申請が多くなり、既に予算枠を

■質疑■
今後における事業要望の見込みは。

■回答■

上回ったことから、今後の見込み等に関する調査を行った結果、新たに50基分が追加計上されるもので、補助内容は、10万5千円を限度に1kw当たり3万5千円の単価で助成をするものです。

松野地区に設置するテキサスゲート3箇所分の工事費です。テキサスゲートとは、門扉ではなく、シカの足が入る程度の穴が開いたグレーチング（鋼製蓋）で、これを幹線道路の全幅に長さ4mにわたって設置することにより、有害獣の道路からの侵入を防ぐものです。



穴に足が入り動けなくなったシカ

鳥獣被害防止対策協議会交付金

920万円

6月補正で、3件分150万円が計上されました。新たに2農家から事業要望があり、追加計上されるものです。補助内容は、50万円を限度に事業費の2分の1を助成するもので、この事業実施により繁殖雌牛の増頭が見込まれます。



この事業を活用して整備された畜舎

簡易畜舎等建設事業補助

100万円

物産品開発・販売促進事業

138万円

観光特産品協会へ業務を委託するもので、事業の目的は新商品の開発、地域食材を活用した加工品の開発等を図り、独立採算も視野に入れた経営の安定・向上を目指すものです。鉄道記念館の会議室を執務室として活用し、2人分の人物費の他にパソコン、コピー機等のリースに要する経費です。



1階には物産館もある宮之城鉄道記念館

小学校管理費・振興費

500万円

盈進小学校の校内放送機器設備の更新及び電子黒板、学校図書等の購入

費です。この原資となる歳入500万円は、宮之城屋地出身で、生前、盈進小学校で教員として勤務された経験のある故塩川幸子氏が寄付をされたもので、盈進小学校の児童のための活用を遺言書に残していました。

■質疑■

寄付に対するお礼は。

■回答■

生前、お礼等は遠慮したいとのことであったことから、学校内に塩川文庫的な形で展示コーナーを設置し、お礼に代えた。そして、塩川氏のことを広く多くの人に知つていただけたような周知方法をとりたい。

条例等

～我が町の法規を探る～

◇今回の定例会では廃止案を全会一致で原案可決◇ さつま町すこやか子育て支援手当支給条例

この条例を廃止する案は、先の3月定例会でも上程されました。対象者が増えつつある中で、事前の周知等もなく、突然廃止する提案は、到底納得できないなどの理由から、起立採決の結果、起立者（賛成者）少數により否決されました。

今日は、平成26年4月1日からの施行ということで3箇月の周知期間を設けたこと、9月定例会において乳幼児への医療費助成を中学生まで拡充（平成26年1月1日施行）したことなどを理由に提案されたものです。

■質疑■

3箇月の周知期間があるが、その内容と方法は。

■回答■

国も同様の制度が充実してきたことや町単独で施しているので、これらを対象者に丁寧に説明し、理解を求めたい。

※その他の議案は8ページ後段に掲載しました。

山崎に町営住宅1棟を建設

さつま町公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した町営住宅山崎団地の建替えが実施されており、平成26年2月に木造2階建て1棟5戸が完成予定であることから、「さつま町営住宅等条例」の一部改正が提案されました。

■回答■

この制度の廃止に伴う低所得世帯への特別な対応はないが、他の制度の中では所得階層に応じた支援等を行っている。



ワンフロアのカウンターが設置された新庁舎

4月1日から一部の課名等が変更

役場の組織機構の見直しにより、一部において課名や業務内容等が変わることから、「さつま町課設置条例」を初めとする関係条例の一部改正が提案されました。今回の改正により課数が5減、係数が9減となります。

詳細内容については、今後、広報誌等で周知されます。

審査の概要について
掲載しました

総務厚生常任委員会

すこやか子育て支援手当支給条例の廃止

課設置条例の一部改正

受給対象者への周知についての具体的な説明内容は。

改正では、企画部門と財政部門が統合され「企画財政課」となるが、これに至った経緯は。

■質疑■

平成26年1月から3月にかけて、国や町の子育て支援制度の内容をまとめたパンフレット等を作成して対象者への十分な周知を図っていきたい。

これまで区分してきた部門であったが、平成27年度以降、地方交付税が次第に減少する中で、計画的な財政運営と事務事業評価の的確な予算への反映という観点などから

■質疑■

この制度の受給対象世帯の約6割が所得金額300万円未満となつていて、所得が低い世帯への対応はあるのか。

このような改正を行つた。

この制度の廃止に伴う低所得世帯への特別な対応はないが、他の制度の中では所得階層に応じた支援等を行っている。

この制度の廃止に伴う低所得世帯への特別な対応はないが、他の制度の中では所得階層に応じた支援等を行っている。

一般質問

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しております。

民間委託



岸良 光廣議員

委託の基本姿勢は

町長／行財政改革の一環である

商業振興と高齢者支援を

町長／対策は急務と考えている

岸良

クリーンセンター等の民間委託は3年以上の実務実績が条件となるが、今後地元企業が参入できるのか。また、予算も高額ではないか。

岸良

高齢化により、買い物弱者の急増が予想される。振興対策として65歳以上を対象にアンケートを実施し、高齢者を支援する考えは。



民間への業務委託が計画されているクリーンセンター

新改
通学路の点検結果を踏
まえた整備状況と交通事故
防止のための指導など
安全対策は。

交通対策

通学路の安全対策は

教育長／日常的に指導を行う



新改 秀作議員

町長／取組みを推進してゆく
スポーツの振興について

新改
通学路の点検結果を踏
まえた整備状況と交通事故
防止のための指導など
安全対策は。

教育長
安全指導は、年度初めにおける通知文での指導、スクールガードリーダーの委嘱、通学路安全マップの作成、PTAでの指導、見守りなど連携を図りながら取り組んでいる。

町長
7年後の鹿児島国体の、少年男子のラグビー会場地に本町が決定を受けたので、更にさつま町のPRに努めたい。また、リーダー養成講習会等を通じて指導者の育成に取組み、町体育協会と協力しながらトップアスリートの招

町長

11月末現在で29箇所中25箇所の対策が終了している。

教育長

鹿児島国体に向けた本町の取組みを図る。また、指導者の育成及びトップアスリートを招へいする考えはないか。



通学路に設置されたガードパイプ(山崎地内)



川口 憲男議員



激特事業により景観整備がなされた川内川



木下 敬子議員

避難所体制のあり方は
見直しを図る
町長／組織内容の

避難訓練の重要性を考
え、一斉防災訓練を行つ
ているが、女性の視点か
らという面での構成は確
認していらない。女性の役
割の必要性については認
識しているので、今後は
行政連絡会議等の中で訴
えていくと共に、地域の
防災力向上に努めていく。

《その他の質問》
グリーンツーリズムで
地域活性化。

川口
景観を生かしたまちづくりは、地域住民、行政が一体となつた取組みを目指すとのことであるが、次の2点について伺う。

①「1地区1景観づくり」の成果は。

②「こころのふるさとづくり」を目指す景観づくりのための行政と地域住民との連携は。

景観対策

町長／発展性による成果を期待
景観づくりの取り組みは

②「こころの景観づくり」という点で捉えると、地域や民間での取り組みに一層の効果が期待できる。

行政と地域が連携し、それぞれの地域の実情にあつた目標を掲げて取り組むことで、地域に根差した、あたたかみのある景観づくりになるものと考え、今後の展開に期待をしている。

町長

①「1地区1景観運動」は、地域活動支援事業の中で推奨し、その後地域元気再生事業としてリニューアルし、各地域において、景観づくりをテーマにした事業に継続して取り組んでいる。

子育て支援

療育施設への送迎を

町長／順次環境を整えていく

木下

保護者は1日往路復路7回の移動をしている。送迎をすることで負担も減り、通所する子どもも増えると考えるが。

町長

発達障がい児の支援については希望者も多い事から、療育時間帯の見直しや送迎など課題に取組んでいく。どのような状況に置かれている子どもにも等しく支援ができるよう、来年度は窓口を一本化して、より以上の支援体制強化に努めていく。

木下

避難所が長期になつた場合避難所での女性の役割は大きいと考える。女性がリーダー的な立場で活躍できる編成を。



通所希望者が多い「オラバンビーノ

7 N.36 さつま町議会だより



宮之脇 尚美議員

教育長

①今回の見直し案に対し
ては、前回ほど大きな反
対はない。今後も理解を
得られるよう努力する。

宮之脇

圃場に係る用排水路の
老朽化が著しい地域があ
るが、改修計画を策定し
整備していく考えはない
か。

町長

②前回の説明会等の意
見・要望等を踏まえたも
のであり、教育環境の充
実を図る観点からも、町
全体の取組みとして推進
していく考えである。

町長

用排水路の改修
計画は
町長／保全計画を
策定し取組む

先般、県の土地改良施
設長寿命化実施方針が作
成された。本町へモデル
地区としての要請があつ
たので、これを受けて10
箇年の保全対策計画を策
定する。今後、事業導入
の要件や時期を見据え、
本町の財政状況や受益者
負担のあり方等を十分考
慮し検討していく。



学校再編計画案の説明会の様子(鶴田小学校)

《その他の議案》

金への支援金及び償還金
が主なものです。

*
専決処分の承認
一般会計補正予算(第6号)

水道事業会計補正
予算(第1号)

10月3日付けで専決処
分されたもので、児童転
落事故が発生した盈進小
学校の窓際の棚の撤去、
新たな手摺りの設置並び
に棚撤去後の壁の補修等
に係る経費です。

■回答■

棚の撤去などの改修状
況は。

棚の撤去と手摺りの設
置は終えており、壁等の
補修についても25年中に
終える計画である。

補正額175万円は、
電気料金の値上げ及び企
業債の借換えに伴う元金
償還金の増額分です。

簡易水道事業会計
補正予算(第1号)

補正額783万円は、
水道事業と同様、電気料
金の値上げ及び企業債の
借換えに伴う元金償還金
の増額分です。

紺屋一幸氏(57歳)
【求名】

任期(新任)
平成25年12月3日(火)



固定資産評価員



人権擁護委員推薦

宮之脇

①学校再編見直し案に係
る各地区での説明会が実
施されているが、住民の
反応はどうか。
②見直し案に対する町長
の所見を伺う。

学校再編

住民の反応と町長の所見は

町長／全町的取組みとして推進



国民健康保険事業特別会
計補正予算(第1号)

補正額8016万円は、
本年度実績見込みに伴う
社会保険診療報酬支払基
本



棚が撤去され手摺りが設置された教室

宮田和子氏(67歳)
【宮之城屋地】
任期(再任)
平成26年4月1日
～平成29年3月31日

～平成24年度の決算を認定～

◇写真は24年度の事業や取り組み等◇

■回答■
これまで優良雌子牛保
留対策事業補助金は、1
頭あたり一律15万円で
あつたが、24年度は、期
待育種価のサシの状態に
応じて、20万円、18万円
及び15万円の3段階に分
けて交付を行つた。

■質疑■
現在も薩摩中央家畜市
場で高値の取り引きがさ
れている子牛価格に対す
る今後の保留対策は。

■回答■
審査の過程で、論議さ
れた一部について掲載し
ます。



全国トップクラスの高値取引きが続く
薩摩中央家畜市場



耐震補強工事を終えた薩摩中学校



本町のPRに多いに貢献しています(夏まつりより)

■回答■
今後も公民会長や健康
づくり推進員の方たちな
どの協力をいただき、生
活習慣病に着目した特定
健診受診後の保健指導等
を高め、受診率の維持向
上を図り、これを継続す
ることで将来的には医療
費抑制への好影響が出で
くるものと考へる。

■質疑■
特定健診の受診率が目
標を上回る69%となつた
ことは評価できるが、本
町の1人当たりの医療費
は依然、高額となつてい
る。特定健診受診率の維
持向上と医療費抑制に向
けた今後の対策は。

■回答■
利用者の人数や要望等
を踏まえ、利用者のニー
ズに応じたダイヤ改正や
巡回方向の見直し等を平
成25年10月に行つた。



事業導入により整備がなされた竹林



特定健診後のフォローも重要である



実証運行中のコミュニティバス

■要請■
滞納額が年度末で1億
円余りとなつてゐる住宅
新築資金等貸付金は、返
済義務の公平性という考
えを基本におき、個別案
件について精査し、関係
機関との連携を図りなが
ら、具体的な対応策の検
討を進めるべきである。

■町長答弁■
部内において公の施設
のあり方検討委員会を設
置し、201施設について
個別点検を行いその方
向性を出しているので、
これに基づき具体的な詰
めを行いながら、実行し
ていきたい。土地開発公
社については、所期の目
的是達成されたものと感
じてはいるので、明確な時
期は示せないが、町の財
政に体力があるうちでの
解散も考える必要がある。

■質疑■
行政のスリム化を図る
には、公共施設における
維持管理経費の抑制が課
題と考えるが、土地開発
公社も含めた今後の財産
管理のあり方を町長はどう
いうに考えるか。

先進地から学ぶ

常任委員会レポート

総務厚生常任委員会

平成25年11月13日から14日にかけて、佐賀県白石町、熊本県水俣市において調査を実施いたしました。

佐賀県の中南部に位置する人口約2万5千人の白石町では、「コミュニティタクシーの運行業務」について調査しました。

佐賀県の中南部に位置する人口約2万5千人の白石町では、「コミュニティタクシーの運行業務」について調査しました。

収支については、いずれの方程式も一定の運行経費から収入（定額利用料金）を差し引いた残額の補助をしています。平成23年度からは過疎対策事業債を活用しており、白石町の補助金支出額は、毎年約1300万円程度で推移しています。

区域デマンド運行は完全予約制となつております。事前に予約すると、自宅から指定乗降場までの間を1乗車300円の定額利用料金で利用できます。

区域デマンド運行は完全予約制となつております。事前に予約すると、自宅から指定乗降場までの間を1乗車300円の定額利用料金で利用できます。

【委員会所見】

白石町内の中心地域では、鉄道や路線バスが運行されていることから、コミュニティタクシーを運行することにより、町は、1乗車200円の定額利用料金で、役場周辺を中心とした2路線で運行しています。

白石町内の中心地域では、鉄道や路線バスが運行されていることから、コミュニティタクシーを運行することにより、町



担当職員との意見交換を行う委員（白石町）

運用方法について、さらには検討する余地があるものと考える。

また、平成24年度のリサイクル率は、さつま町が約12%であるのに対し、水俣市は約40%と非常に高い割合であります。

これは、水俣市が分別を徹底することで、売却できる一般廃棄物を可能な限り業者に売却した成果を推進しています。過去

に、平成13年度には可燃ごみが8190tあつたものが、平成15年度には可燃ごみ5231t、生ごみ1527t、合計6758tとなり、2年間で約1500tの減量を達成することができます。

本町においても、水俣市の事例を参考にしながら、行政と住民が一体となり、ごみの減量化に取り組める体制を整備することが必要であると感じた。

これは、市民が各家庭において徹底した「生ごみの水切り」を実践したことなどが大きな要因であるとのことです。

本町においても、水俣市の事例を参考にしながら、行政と住民が一体となり、ごみの減量化に取り組める体制を整備することが必要であると感じた。

さつま町では「事前予約型の乗合タクシー」として定時定路線で運行される乗合タクシーが8路線を運行しており、指定された停留所間を利用することができます。

また、「コミュニティバス」についても、乗合タクシー同様、定時定路線の4路線で運行している。

特に、一般廃棄物の処理については、行政が自治会の協力のもとに、ごみの種類ごとに徹底した分別作業を行い、ごみの減量化に努めています。

ごみの処分費についても、各家庭無料（業者を除く）ですが、それぞれの地区単位で住民が分別作業に参加しており、年間の総額約1600万円

は、鉄道や路線バスが運行されていることから、コミュニティタクシーを運行することにより、町は、1乗車200円の定額利用料金で、役場周辺を中心とした2路線で運行しています。

白石町と本町では地理的条件に大きな差異があるが、地域公共交通が町にとつて本当に利用しやすいものとなるよう



施設で職員の説明を受ける委員（水俣市）

に検討する意識が非常に高いことを痛感した。

現在でも頻繁に市民向けの出前講座を開催し、学校教育の中では環境教育に積極的に取り組まれ、小中学生の頃からごみ問題に関する細かい指導がなされているとのことであります。

文教經濟常任委員會

平成25年11月6日から7日にかけて、宮崎県都城市及び大分県九重町において調査を実施いたしました。

宮崎県の南西部に位置する人口約16万8千人の都城市では、「6次産業の現状と取り組み」について調査しました。

て検討がなされていきます。

また、これらを具体的に推進するため、同年4月1日には、局長以下4人の専任体制による「六次産業化推進事務局」が設置されました。

害を肉用牛豚 ブロイラー等の畜産部門が占め、加工野菜の栽培も盛んであります。が、農家戸数及び農業従事者数は、年々減少の傾向にあります。

幹産業である農林畜産業の振興と6次産業の推進を掲げられていたことから、平成25年1月に農政課を中心とした関係7課による6次産業化推進プロジェクトチームが設置され、6次産業化に向けた現状分析、課題の抽出、課題解決、6次産業化推進構想の策定に関することなど5つの事項について



担当職員から説明を受ける委員(都城市)

等も理解し、興味を持つたやる気のある方を支援するという考え方でありま。

今後の6次産業化に対する具体的な支援策等に

トの中で、これらの課題解決のためのニーズに対応した支援制度を創設し、26年度以降の予算に反映したいとのことであつました。

【委員会所見】
具体的な施策の展開は
これからですが、6次産
業化に向けての実態調査
情報収集、分析、対策等
については、今後、本町
としても参考にすべき点
があるものと思われる。

また、6次産業化は経営改善のひとつの手段であり、メリットがある一方で、リスクも伴う事業

であることを認識し、T P Pの課題等も含め、本町の今後における農林業者の所得向上と振興を図るうえから、極めて重要な施策であると思われる所以、積極的な取り組み

を進める必要があると考
える。

大分県の南西部に位置する人口約1万人の九重町では、「耕作放棄地の

ば、農家の理解は得難いと判断し、協議の結果、耕作放棄地の解消策として、農業委員会独自で唐辛子の栽培に取り組むことになりました。

先進地等の研修も実施した結果、唐辛子栽培のメリットは、生産コストが比較的安く、栽培が容易で高齢者にも取り組みやすく、そして1番のノリットは、鳥獣被害を受けにくいということでした。

このことから農業委員会では唐辛子部会を設置し、3年間にわたり、佐付面積を拡大しながら独自に実証栽培を行つた結果、九重町でも十分に栽培が可能であることや、当収益もある程度見込まれることが確認され、課題もありますが、今後の新たな作物として期待されています。



農業委員から説明を受ける委員(九重町)

20名の農業委員が町の耕作放棄地の現状を憂い、数年を掛けてその解消に向けた対策に自ら取り組みをされたことに、深い感銘を受けた。唐辛子の栽培はひとつの例であり、環境条件等は若干異なるが、耕作放棄地が拡大する本町でも何らかの参考になるものと考へる。

7月に設置された農林業振興プロデューサーを中心に関係課・機関の連携を図り、遊休農地と耕作放棄地の解消に向けたあらゆる対策を展開する必要があると考へる。

議会活動



《新庁舎建設に伴い現議事堂での本会議は12月25日が最後となりました》

定例会最終日25日の本会議終了後に、議事堂の閉場に当たり議長は挨拶の中で、「昭和44年の宮之城町議会以降これまで四十数年、多くの議員による幾多の論戦が交わされた歴史ある議場であり、新たな議場においても先輩諸氏の意思を引継ぎ、町民の代表者として活発な議会となるよう努力していきたい。」と述べました。

そして、最後に現議事堂に感謝の意を込めて、全員で敬礼をしました。



商工会役員との懇談会では、商工業の振興策等に関する意見交換を行いました。(H25.10.22)



国道504号さつま町出水市区間改良整備促進議員期成会総会を開催し、整備促進に向けた決議をしました。(H25.10.31)

委員長
委員
副委員長
員員
米新木木
丸改下下
文秀賢敬
武作治子

議会広報特別委員会

(新改
秀作)

さて、現庁舎の議事堂での議会も12月が最後となり、次の議会からは、新庁舎での開催となります。多くの傍聴の方が来られることを期待しますと共に、今後もわかりやすく、読みやすい議会だよりの作成に努めてまいります。

最後に、今年も皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。

新年、おめでとうございます。
平成26年も輝かしい年をお迎えのことと存じます。

編集後記